

図書館運営について

■図書館運営基準

池田市の図書館は、昭和37年に学生や勤労青年の学習の場として、池田駅近くの新町に蔵書数約3,500冊で開設されました。その後、昭和54年に市制40周年記念事業として五月丘に市立図書館・歴史民俗資料館を併設して建設、昭和55年4月29日に開館し、現在に至っています。

また、地域間のサービス格差を解消する一助として、平成10年に石橋駅前に分館として石橋プラザを開館、平成26年には池田市中央公民館1階に「図書コーナー」を開設しました。さらに、北摂地区7市3町による広域利用や川西市との相互利用を促進することにより利用者の利便性の向上に努めています。

近年の情報技術の急速な進歩により、市民の情報入手方法は著しく変化し、インターネットで膨大な情報を得られる時代となりました。その一方、正しい知識や必要な情報を精査して活用するための情報活用能力が求められ、図書館の役割は、従来の「借りる、読む、調べる」に加え、必要な情報を収集し、積極的に発信する、課題解決に役立つ「地域の情報拠点」として大きく変化しています。

池田市立図書館では、次のことを運営の基準として、近年の情報化、少子高齢化、国際化等の社会状況の変化に適応し、より充実した図書館サービスの向上をめざします。

- 1 多様な資料・情報の収集、整理、保存に努め、市民の読書活動を推進します。
- 2 市民が必要とする資料や情報を提供することにより、「地域の情報拠点」として、課題解決に役立つ図書館をめざします。
- 3 子どもたちの豊かな「学び」を応援し、学校、家庭、地域等と連携して子ども読書活動の推進を図ります。
- 4 図書館ボランティアとの協力を深めるとともに、市民同士の交流の機会・場を提供し、市民がわくわくしながら集い、出会う楽しい図書館をめざします。
- 5 高齢・障がいなどの理由により図書館利用が困難な市民へのサービス拡充や情報提供の格差解消に努め、誰にでもやさしい図書館をめざします。

■平成28年度事業報告

- 1 障がい者サービス事業：学校図書館を通じ、読書をすることに障がいをもつ児童、生徒を対象に、さわる絵本、マルチメディアデイジー、LLブックといった障がい者支援資料の貸出を実施しました。また、手話講座の受講生、ボランティアとともに「手話おはなし会」を開催し、障がい者への理解を深めるとともに、障がいの垣根を越えた楽しい交流の時間を持つことができました。
- 2 多言語サービス事業：多文化交流を目的として、国際交流センターとの共催により「いろいろな国のことばでおはなし会」を開催しました。英語、中国語、韓国語、タガログ語による絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを楽しみました。今後は市内各館でも開催していく予定です。
- 3 育児支援サービス事業：健康増進課、保育関係者等の協力により、定例のおはなし会のあと

に、「子育てのちょっといいおはなし」の時間を設け、栄養士、保健師、保育関係者等による育児に関するお話や情報提供をしていただきました。若いお母さんたちにとっても好評です。今後は、本館、図書コーナーでも実施していく予定です。

- 子ども読書推進事業：池田市中央公民館と図書コーナーの共催で、絵本の読み聞かせと料理教室をコラボした「ミニおはなし会&親子でクッキング」を開催しました。絵本を読んだ後、その絵本に出てくる料理を実際に料理教室で作ってみるといった新しい試みでした。今回は、『しろくまちゃんのホットケーキ』でしたが、絵本の中のホットケーキを実際に作る工程が、子どもたちにとってはとても楽しかったようです。

また、「いけだ教育フェスタ」において、ミニビブリオバトルを開催しました。市内小中学生を対象に、7人のバトルが競い合い、大変盛り上がりました。

- 市民、ボランティアとの協働事業：市民や図書館ボランティアとの協同により、春には図書館こどもまつりを、秋には図書館まつりを開催しました。講演会、各種ボランティアの体験コーナー、おはなし会、コンサート等のイベントを実施し、たくさんの参加者で賑わいました。

図書館まつりでは、玄関前広場に1日カフェもオープンし、秋晴れの空の下、コーヒーを飲みながらゆっくり読書を楽しむことができたのではないのでしょうか。

このほか、蔵書に関しては、約5万4千冊の蔵書へのICタグの貼付を実施し、今年度で全資料へのICタグ貼付を終了しました。次期電算システム更新に向け、セキュリティーゲートや自動貸出機の導入を検討します。

■平成29年度重点目標

1 図書館広域利用の促進

豊能地区3市2町による図書館広域利用を北摂地区7市3町へ拡大します。

【実行計画】4月に協定締結後広報活動に努め、7月に開始

2 ヤングアダルトサービス

ティーンズコーナーを設置し、YAブックリストの発行、ホームページ内のYAページ「ティーンズクラブ」やツイッターを活用したYA世代への情報発信に努めます。

【実行計画】蔵書点検期間中にティーンズコーナー設置、10代向けに特化した魅力的な空間づくりを演出

3 課題解決支援

地域住民が日常生活を送る上での課題解決に必要な情報提供に努めます。

【実行計画】専門家による暮らしに役立つ情報講座の開催

4 障がい者サービス

館内案内表示を誰にも分かり易い表示に変更します。

【実行計画】ピクトグラムと多言語表示付き案内表示の作成